

飼料用米新品種「ゆたかまる」の特性

～ いもち病抵抗性・耐倒伏性が強く、多収な飼料用米新品種を開発 ～

要約

いもち病抵抗性・耐倒伏性が強く、多収で、一般米と識別性がある「ゆたかまる」を育成しました。「みなゆたか」に替わり飼料用米の奨励品種に指定されました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

本県では「中生の早」の飼料用米品種として「みなゆたか」が作付けされていますが、多肥栽培でのいもち病や倒伏の発生、一般米と識別性がないことが問題となっていました。

そこで、多収でいもち病抵抗性や耐倒伏性が強く、玄米が一般米と識別性がある飼料用米品種を育成しました。

2. 内容

表1 「ゆたかまる」の主要特性

品種名	早晩性	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	粗玄米収量 (kg/a)	同左標準比	玄米千粒重 (g)	いもち病抵抗性		耐倒伏性	耐冷性
								葉いもち	穂いもち		
ゆたかまる	中生早	8/2	9/19	84	81.1	106	23.1	極強	極強	極強	極強9
みなゆたか	中生早	8/4	9/26	88	76.6	(100)	22.9	やや強	やや強	強	極強
まっしぐら	中生早	8/4	9/23	81	75.2	98	22.5	強	やや強	強	やや強

出穂期・成熟期は「みなゆたか」より早い。

いもち病抵抗性は「みなゆたか」より2ランク、耐倒伏性は1ランク強い。

(注) 平成28～令和元年、農林総研(黒石市)多肥区(N:1.0+0.4kg/a)の結果。障害型耐冷性の「極強9」は「極強」より1ランク強いことを示す。

表2 飼料成分分析値

品種名	乾物中(%)					
	粗タンパク質	粗脂肪	可溶無窒素物	粗繊維	粗灰分	可消化養分総量
ゆたかまる	7.9	2.4	83.5	0.4	1.7	94.4
みなゆたか	7.5	2.5	84.1	0.3	1.5	94.7

飼料成分は「みなゆたか」とほぼ同等。

(注) 平成29年畜産研究所による調査。

3. 活用等

県内全域での作付けが可能です。飼料用米の安定生産が可能となり、生産農家の所得向上が期待されます。

乳白・腹白の発現が多く、一般米と識別性がある。



草姿



ゆたかまる

みなゆたか

玄米

関連情報

令和2年2月に県の飼料作物奨励品種に指定されました。一般栽培用の種子は令和3年度作付け分から供給されています。なお、「ゆたかまる」は、これまで「青系201号」として紹介してきました。